

(単元) ハンセン病について

(本時のねらい)

ハンセン病について知らない生徒が多くいる現状から, どのような病気であり, どうして差別されたのかを歴史の変遷をたどる中で正しく認識する。現在でも大島青松園での生活を余儀なくされている方々がいることに気付かせ, その願いや思いについて考えさせる。また, 自分たちの学校生活で, 相手のことを知らないことから生まれるトラブルがあることを理解させる。

(ICT活用方法)

ハンセン病の特徴を言葉だけでなく, 電子黒板を用いて図を表示することで視覚的に理解をさせ, 刺激を与えることができた。また, ハンセン病の歴史を振り返る際に, 年号をスライドの片隅に表示することで, 前後の時系列を意識しながら説明した。療養所の説明では, カメラで撮影した写真をスライドに表示し, 実際に体験した生徒にも, パソコン操作をさせながら発表させることができると考えた。

(本時の展開)

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
導入 (5分)	・ 本時の学習内容を確認する。	・ 本時の学習内容を理解させる。	
展開 (42分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライドによりハンセン病に関する正しい知識を理解する。 ・ 大島青松園について理解する。 ・ 今回の授業で考えた意見をグループでまとめ, 発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハンセン病についてスライドを用いて理解させる。 ・ 大島青松園について理解させる。 ・ 実際に研修に参加した生徒に説明させる。 ・ 決められたテーマから授業の中で, 感じたことをグループで話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見を伝え, 相手の意見を聞くことができている。 (技能的側面)

		<ul style="list-style-type: none"> ・意見をまとめて，各グループで発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人事ではなく，正しい知識と関心を持つことが差別解消につながることを理解できている。 (知識的側面)
まとめ (3分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを知らないことが偏見を生み，差別につながることを理解させる。 	

(授業の様子)



アニメーションを用いて説明



写真などを使用し説明



グループワーク

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

ハンセン病の歴史を説明する中で，電子黒板に表示されているスライドを見ながら，話を聞くことができるので理解がしやすいと思う。板書をする時間を短縮することができたので，説明に時間をかけることができたが，生徒がノートに記録する時間を設けることが難しい授業になってしまった。授業者の負担は軽減したが，その分生徒に負担が移っているように感じた。改善するためには，ワークシートの内容を見直す必要があると思う。事前に授業のポイントに関するワークシートを準備しておき，生徒に空欄を埋めるようにする方法や，考えさせる工夫があると感じた。また，私の技術不足もあり，生徒の意見をリアルタイムでスライドに生かす方法を調べていなかった。そのために，現状としては通常の黒板と併用して電子黒板を使用する方法が，最も充実した授業になると思う。